

資料3

令和3年度

学校経営・運営ビジョン、各部・各学年努力目標

評価・分析・反省

福島県立会津第二高等学校

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
I 学校経営・運営ビジョン			
自ら学ぶ意欲の育成			
1 基礎基本の定着			
①	習熟度に応じた分かりやすい授業を目指します。	3.3	17
②	繰り返し学習を徹底し学習事項の定着を目指します。	3.4	12
2 受験指導の充実			
①	個別添削指導、模擬面接、小論文指導を通して、進路達成を支援します。	3.4	12
3 充実した学校生活			
①	学校行事・部活動を通して、円滑な人間関係を育成し、連帯感を深めます。	3.3	17
②	個別面談を通して、学習上の悩みや課題の解決、また、学校生活における悩みや課題の解決を目指します。	3.7	4
結果に対する分析・反省 (担当:教務)			
<p>「1基礎基本の定着」については、各教員が基礎事項の繰り返し学習を通じて丁寧な授業を心掛けている。習熟度に応じた分かりやすい授業において、今後も教員同士で授業の実践事例を共有しながら、その改善に努めていきたい。</p> <p>「2受験指導の充実」については、模擬面接を主として全職員が協力して指導にあたり、進路実現に向けた支援として効果的であった。「3充実した学校生活」については、コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、生徒及び保護者の協力もあつたことから当初の予定通りに実施することができた。その結果、生徒の連帯感や円滑な人間関係を深める好機となった。一方で、学習上の悩みや生活上の悩みがあるときは、各担任が窓口になり適宜面談を取り入れながら生徒のケアに努めた。さらに、定期的に担任以外の教員(各部で主任を務める教員が学年毎に割り振られる)が生徒の面談を行う機会を設けている。</p>			
職業観の育成			
1 進路意識の向上			
①	『進路講話』『就職準備会』など、進路行事を通して、進路意識の高揚を図ります。	3.1	22
②	企業訪問の充実と、就職面接会への積極的参加を目指します。	3.1	22
2 進路情報の活用			
①	『進路だより』を通して、生徒・保護者への情報発信に努めます。	3.2	20
②	ハローワークをはじめ、関係機関との連携を元に、進路達成を支援します。	3	24
3 進路相談の充実			
①	担任、進路係、進路アドバイザーとの面談を通して、進路希望達成に向けて個々の支援を図ります。	3.3	17
結果に対する分析・反省 (担当:進路指導)			
<p>1 ①新型コロナの影響もなく、進路講話は目的別に低学年、高学年に分けて実施し、4年生は7月に就職準備会を実施したことが進路意識の高揚につながった。ただ、4年生と他の学年とで温度差があつたかもしれない。②新型コロナの影響で企業訪問は4社で残り1社は電話での対応だった。内定者のお礼訪問は内定した企業全部を対象に実施できた。企業訪問の内容は進路だよりに掲載し在校生への進路意識の喚起を図った。ただ、4年生と他の学年とで温度差があつたかもしれない。内定した生徒にはお礼訪問の内容を伝え4月からスタート出来るように助言を与えた。就職面接会本年度は1名参加者がいた。新型コロナの影響が多少はあつた。2 ①進路だよりは4回発行した。更に内容の向上、工夫をしたい。②ハローワークの就職支援ナビゲーターとは会議、電話で、進路アドバイザーとは打ち合わせを特定の曜日と時間に設定し固定したこと、更に必要があれば電話連絡等をし密にした。ただ、4年生と他の学年とで温度差があつたかもしれない。3 ①新型コロナの影響はなく実施した。時間に遅れる生徒が多少見受けられた。</p>			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
社会性の育成			
1 基本的な生活習慣の育成			
①	登下校指導・給食指導を通して規則的な生活習慣を育成します。	3.2	20
②	『生活体験発表会』を通して、自己実現を支援します。	3.6	9
③	個別面談を通し、生活上の課題解決を支援します。	3.6	9
2 安全教育の推進			
①	『教薬物乱用防止教室』『防犯教室』『スマホ・ケータイ安全教室』を実施し、安全意識向上に努めます。	3.6	9
②	『相談室だより』を通して、安全な生活の向上を支援します。	3.4	12
3 心と身体の健康			
①	「ほけん便り」「給食だより」を通して情報発信に努め、健康意識を高めます。	3.7	4
②	個別面談を通し健康の支援をします。	3.7	4
③	『心の健康教室』を通し、精神面での支援をします。	3.8	2
結果に対する分析・反省 (担当:生徒指導)			
1-①普段から声かけを通して基本的な生活習慣の確立を目指したが、生徒によっては今後一層の継続的な指導が必要である。1-②貴重な体験を通して精神的成長が促された。1-③生徒の問題解決を促すことができた。2-①生徒自らが考える学習機会を提供することができた。2-②安全意識の向上と規範意識の定着に資することができた。3-①②③各種文書や面接を通して心身のサポートができた。			
地域社会との連携			
1 学校・家庭・地域との情報共有、連携の強化			
①	『ホームページ』『PTA会報』『学校だよりオーロラ』による情報提供に努めます。	3.7	4
②	授業や学校行事の公開に努めます。	3.7	4
③	学校評価に取り組み結果を公表します。	3.9	1
④	服務倫理委員会を定期的に開催し、不祥事の根絶を目指します。	3.8	2
⑤	ボランティアの機会を通して社会貢献の意義と役割を実感させます。	3.4	12
2 事業主との連携強化と、働く生徒の支援			
①	在学中の就業率を向上させるため、就労情報の提供や、相談の充実させ、就業定着指導に努めます。	3.4	12
結果に対する分析・反省 (担当:保健)			
1-①行事などを写真やコメントを適宜入れて、保護者や生徒への情報発信が非常にわかりやすく伝わっている。②授業や学校行事も公開できていた。③学校評価に取り組み結果を公表できている。④服務倫理委員会を開催し、ひとり一人が自分のことと捉えることができるような研修内容であり、不祥事根絶に向けた取り組みができた。⑤ボランティアの経験を通して社会貢献の意義と役割を実感することができた。2-①適切な就労情報の提供や相談が実施できている。			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
II 教務部			
1 授業及び学習環境の充実を図る。			
①	言語活動を適切に位置づけた学習指導年間計画を各自作成するとともに、評価基準を明確化する。	3.6	5
②	授業時間の確保および規律遵守の観点から授業時の「chime to chime」を行う。	3.6	5
③	出張等、各教員の動向に常に気を配り、必要がある場合には特別時間割を作成する。	3.4	8
④	自習時間を作らないために、教科担任不在の際は、授業交換や授業代行を積極的にを行う。	3.7	1
⑤	新教育課程開始に向け、生徒の実態に応じた適切な教育課程を編成する。	3.4	8
2 生徒個々の状況や希望を考慮した学習支援に努める。			
①	成績不振者や欠課時数が増えてきた生徒に対し、保護者召喚の上、改善指導を行う。	3.7	1
②	年度始め教務ガイダンスや部長面談により三修制について生徒に説明する。	3.3	13
③	生徒を理解するため部長面談を実施し、その結果を担任と共有し指導に役立てる。	3.7	1
④	進路希望に応じ、各教科において個別指導を実施する。	3.2	15
3 生徒の主体的・対話的な姿勢を育成し、深い学びを目指す。			
①	各種研修(アクティブ・ラーニングを含む)の成果を伝達講習等を通じて全職員で共有する。	3.3	13
②	授業において各自が目的を持ってALを取り入れ、その実践結果について互いに意見交換をする機会を設ける。	3.4	8
③	昨年度、全教員で協議した内容を基に、課題学習のあり方を見直し、より主体的、対話的な課題学習を行う。	3.4	8
④	新しいルーブリック様式を活用し、各教科において主体性、コミュニケーションを重視した授業を行う。	3.2	15
4 保護者および地域への情報発信を行う。			
①	学期末などに保護者と担任が情報交換をする機会を設定する。	3.7	1
②	学校案内を作成する。	3.6	5
③	ホームページで学校情報を発信する。	3.4	8
結果に対する分析・努力目標の反省			
<p>「1」については、今年度も、全職員が授業時間の確保に努め、授業交換や授業代行が100%なされた。令和4年度から始まる新課程や観点別評価に対し、情報共有や各教科の検討を進めており、本校に即したものとなるように今後も取り組みたい。「2」については、配慮が必要な生徒が多い本校において、担任を中心にその状況把握に努めた。欠席の多い生徒が少なからずいるが、その原因はさまざまである。今後もスクールカウンセラーや外部機関などと連携しながら、学校不適応の生徒を減らしていきたい。「3」については、課題学習において予め担当教員がテーマを提示する形に改め、「深い学び」につながる一つの様式として一定の効果を上げた。さらに、課題学習全般において校内で整備しているICT利活用を促進することができた。なお今後も「深い学び」のあり方を検討していきたいと考えている。「4」については、学期毎に担任と保護者との面談が設けられ、適宜情報交換がなされている。</p>			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
II 生徒指導部			
1 基本的な生活習慣の育成…ルールを遵守する態度、基本的な生活習慣を身に付けさせる。			
①	登下校指導の実施	3.6	1
②	給食指導	3.1	17
③	集会時の指導（整列指導・講話）	3	19
④	遅刻早退者への個別指導	3	19
⑤	集会時の講話	3.6	1
⑥	「生徒指導部だより」の配布	3.2	14
⑦	職員室等への入退室における挨拶指導	3.2	14
2 主体性の育成…主体性を育成するとともに、生徒理解に努める。			
①	ボランティア活動の実施	3.6	1
②	アルバイト先の調査・指導	3.4	9
③	生活体験発表の指導	3.6	1
④	個別面談の実施による生徒の状況把握	3.3	13
⑤	担任との連携による生徒理解	3.2	14
⑥	中学校訪問による新入生の状況把握	3.6	1
⑦	被害実態調査の実施	3.4	9
⑧	いじめアンケートの実施	3.4	9
3 安全教育の推進…安全教育を徹底し、生徒の意識を高める。			
①	交通安全教室の実施	3.6	1
②	薬物乱用防止教室の実施	3.6	1
③	インターネット・防犯教室の実施	3.6	1
④	啓発ポスターの掲示・更新	3.1	17
⑤	「休業中の生徒心得」発行	3.4	9
結果に対する分析・努力目標の反省			
1-①②③⑦更なる継続的指導を行いたい。1-④遅刻や欠席が多い生徒に対する個別指導を充実させたい。1-⑥クラス担任と連携を図りLHR等での活用を企画したい。2-①③精神的成長を促す有意義な機会を提供できた。2-②④⑤⑥⑦⑧更なる現状把握の深化と各部署との連携を強化して行きたい。3-①②③④更なる企画の充実を図りたい。3-⑤より生徒の実態を反映した内容へと検討を加えたい。			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
III 進路指導部			
1 進路意識の向上を図る。			
①	生徒との面談や進路希望調査を通して生徒の進路希望を早期に把握し、計画的に個別面談等の指導にあたり、就職面接会等に積極的に参加させる。	3.3	7
②	進路講話、就職準備会等の進路行事を実施する。	3.3	7
③	就職の手引き、進学の手引き、公務員の手引きを作成する。	3.4	1
2 望ましい職業観を育成する。			
①	アルバイト等、就労の奨励に努め、諸手続きの際の挨拶をしっかり指導する。	3.4	1
②	各学年主導で各種適性検査を実施する。	2.6	13
3 進路情報の活用を促進する。			
①	年3回以上の『進路だより』の発行により、生徒と保護者への情報の効果的な提供を行う。	3.4	1
②	ハローワークや進路アドバイザー等、関係諸機関との連絡を密にし個別面談を通し進路実現を支援する。	3.4	1
4 受験指導を充実させる。			
①	実際の進学や就職試験問題を提示し、個々を支援する。	3.2	12
②	個別の添削指導、模擬面接、小論文指導を実施する。	3.3	7
5 求人開拓を行う。			
①	企業訪問、内定した企業へのお礼訪問を実施する。	3.3	7
②	ハローワーク主催の就職面接会に目的意識を持って積極的に参加する。	3.4	1
③	来校求人者へ本校を正しく理解してもらう。	3.4	1
④	ハローワーク主催の企業採用担当者と進路指導教諭の情報交換会に参加する。	3.3	7
結果に対する分析・努力目標の反省			
<p>1 ①新型コロナの影響はなく例年通り実施した。時間に遅れる生徒が多少見受けられた。本年度は就職面接会に1名参加者がいた。②進路講話は目的別に低学年、高学年に分けて実施し、4年生は7月に就職準備会を実施したことが進路意識の高揚につながった。③本年度は在校生全員に就職の手引き、4年生は全員就職希望だったため就職の手引きのみ配布した。2 ①ハローワークが毎週発行する求人情報を計画的に毎週掲示出来た。諸手続きの際助言を与えて取り組ませた。②生徒の実態を十分踏まえ各学年が参考になるよう検査案内等を各学期ごとに回覧し情報提供したい。3 ①進路だよりは4回発行し、内容の向上、工夫をしたい。②ハローワークの就職支援ナビゲータとは会議、電話で、進路アドバイザーとは打ち合わせを特定の曜日と時間に設定し固定したこと、必要があれば電話連絡等をし密にした。4 ①就職書類が完了後助言を与え受験報告書を参考に受験に臨ませた。ただ、4年生と他の学年とで温度差があったかもしれない。②スクールタイム前や放課後更に授業で教科担当者に個別指導等を受けていた。面接指導は複数の教員で協力したことが大きな要因である。5 ①新型コロナの影響で企業訪問は4社のみで残り1社は電話での対応だったが、内定者のお礼訪問は内定した企業全部を対象に実施できた。企業訪問の内容は進路だよりに掲載し在校生への進路意識の喚起を図った。内定した生徒にはお礼訪問の内容を伝え4月からスタート出来るように助言を与えた。新型コロナの影響は多少あった。②本年度は就職面接会は1名参加者がいた。③新型コロナの影響は多少あったが、来校者にはスクールガイド等を配付し本校について十分理解してもらえよう努めた。④ハローワーク主催の企業の情報交換会および職業紹介業務連絡会議には参加し企業の情報等を4年生に提供することが出来た。</p>			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
IV 保健部			
1	基本的生活習慣の育成		
①	健康に留意した生活習慣を身につけさせるための啓発活動として、「保健だより」を作成する。	3.7	5
②	「朝食を見直そう週間」を春と秋の年2回実施し、食事の大切さを意識づける。	3.7	5
③	「栄養教室」を実施し、栄養の知識理解を高める。	3.8	2
④	給食後の全校歯みがきを実施し、食後の歯磨きの習慣を身につける。	3.4	11
⑤	LHRを活用し、一斉指導において歯と口腔衛生についての知識理解を高める。	3.3	12
⑥	個別指導の充実を図り、継続的に歯みがきの指導し、自分に合った正しい歯みがきの技術を身につける。	3.6	7
2	相談活動を充実…カウンセラーを積極的に活用し、専門的な視点でアドバイスを頂き、指導の徹底を図る。		
①	SCによる講話「心の健康教室」の実施し、自己理解を深める。	3.6	7
②	SCによる個別面談を全校生実施し、生徒の心の支援の充実に努める。	3.6	7
③	中高連携シート・保健基礎調査票による事前調査を実施し、カウンセリングに活用させる。	3.6	7
3	定期健康診断の完全実施…関係機関と連絡を密にし、すみやかに健康診断を実施できるように努める。		
①	本校の実態に即した健康診断計画を立てる。	3.9	1
②	健康診断後はすみやかに個人通知する。	3.8	2
③	健康診断結果から、指導対象者を把握し、担任の先生と協力して受診を促す。	3.8	2
結果に対する分析・努力目標の反省			
<p>1-①健康に関する知識理解を高めるために保健だよりによる啓蒙を実施できた。②「朝食を見直そう週間」の年2回食事調査の実施はできた。睡眠を含めた生活習慣の確立により朝食摂取率も改善されると考えるため、今後、指導が必要である。③「栄養教室」を実施し、栄養の知識理解を高めることができた。④給食後の全校歯みがきの実施については、給食摂取者は歯みがきの実践もできているが、遅刻や給食を食べない生徒は歯みがきができていない。給食を食べる指導をして、その流れで食べたなら磨くように促していきたい。⑤⑥一斉指導は実施できなかったが、個別指導において行った。2-①SCによる講話「心の健康教室」を通して、コミュニケーションの構築や自己理解を深める機会になったと思われる。②SCによる細やかな面談を全校生実施し、生徒の心の支援の充実に努めることができた。③中高連携シート・保健基礎調査票を活用し、カウンセリングや生徒理解に努めることができた。3、本校の実態に即した健康診断計画を立て先生方の協力のもと円滑に実施できた。またすみやかに個人通知をした。指導対象者には長期休業前などに個別の通知を配付して受診を促した。</p>			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
V 1学年			
1 授業や家庭学習を大切にさせ、基礎学力を身に付けさせる。			
①	授業において他の意見をよく聞くこと、分かりやすく話すことの大切さを指導し、相互の理解を促す。	3.4	10
②	予習や復習を促すために、勉強道具の持ち帰りを指導する。	3.4	10
③	疑問点を自ら担当者に質問したり、資格試験に挑戦するなど、主体的な学習態度を持つよう指導する。	3.4	10
④	定期考査の結果等に対し、適宜個別指導を行う。	3.7	3
2 進路意識の向上を図る。			
①	LHRなどで、社会で求められるや人間像について考えさせる。	3.6	7
②	LHRや面談により、自分の進路や将来について考えさせる。	3.7	3
③	進路希望調査を実施し、保護者との連携をとりながら進路情報を提供する。	3.7	3
④	進路指導部と連携し、進路に関する十分な情報を生徒に提供する。	3.6	7
3 基本的な生活習慣を育成し健全な学校生活を送らせる。			
①	SHR、LHR等において挨拶指導を行う。	3.7	3
②	普段の生活の中で、敬語等、適切な言葉遣いを指導する。	3.8	1
③	相談室だよりをLHRで活用し、個人や集団生活におけるルールを遵守させる。	3.3	13
④	学校行事や時間割変更などの連絡を早め、かつ繰り返し行い計画性をもって生活する習慣を身につけさせる。	3.6	7
⑤	生徒に応じた生活指導のために、個人面談を行う。	3.8	1
結果に対する分析・努力目標の反省			
<p>1学年として、3-③④⑤に比較的重点をおいて指導した。個別面談において、集団生活におけるルールや基本的な生活習慣をその都度、指導した。</p> <p>1の基礎学力や学習習慣の定着は、定期考査前や定期考査の結果に応じてその都度個別指導したが、一部の生徒は未だにその定着への意識づけが課題となっている。成績上位の者も学力向上への意欲も課題である。</p> <p>2の進路関係について全般的にその意識に差があるので、適宜、全体や個別に情報提供や指導を行い、全体的に進路意識を向上させることが課題である。</p>			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
V 2学年			
1 基本的な生活習慣を身につけさせる			
①	普段の生活の中で、敬語を含む適切な言葉遣いや挨拶の指導を行う。	3.6	12
②	生徒の登校前の過ごし方を把握し、状況に応じてアルバイト等の就労を促す。	3.7	2
③	連絡なく欠席した生徒に対しては、保護者に連絡し、所在を確認する。	3.8	1
④	ホワイトボードを活用し、学校行事や時間割変更などを連絡を明確に行う。	3.7	2
⑤	生徒との融和及び個に応じた生活指導のために、個人面談を行う。	3.7	2
2 授業や家庭学習、定期考査を重視し、基礎学力を身に付けさせる。			
①	主体的な姿勢を育成するために、LHRや授業において生徒の「話す」活動を積極的に取り入れる。	3.6	12
②	定期考査前の勉強道具の持ち帰りを指導し、復習を促す。	3.7	2
③	定期考査に対する意識を高めるために、定期考査前に試験範囲の一覧を生徒に作成させる。	3.7	2
④	宿題やノート等の提出状況を把握し、未提出の者に対しては繰り返し指導する。	3.7	2
⑤	定期考査の結果等を分析し、変化の大きい生徒に対しは、個別に指導や激励を行う。	3.7	2
3 進路意識を高め、希望進路を明確にさせる。			
①	LHRを活用し、どういう人間が社会で求められるか、生徒自身に考えさせる。	3.7	2
②	進路指導部と連携し、進路に関する十分な情報を生徒に提供する。	3.4	14
③	進路希望調査や個別面談を通じて、生徒や保護者の進路希望を十分に把握する。	3.7	2
④	生徒の希望を踏まえ、保護者と連携をしながら適切なアドバイスをする。	3.7	2
結果に対する分析・努力目標の反省			
<p>「基本的な生活習慣」については、生徒の実態を個別面談や各種調査によって把握しているが、全体的に起床時間、就寝時間が遅いのが気になる場所である。高校卒業後の生活や健康の面を考え、できる限り「早寝早起き」の習慣を身につけるよう度々アドバイスを行ったり、保護者からの指導をお願いしたりしているが、なかなか改善しないというのが現状である。生活習慣は学習にも大きく影響する重要な項目なので、今後も継続的に指導していきたい。「基礎学力」については、全体的に授業態度は良好で、定期テストの成績も悪くはないもの、まだまだ伸びる余地がある生徒が多い。ただの暗記ではなく、理解する喜びを知ること、学習に対する主体的な態度を身につけさせたいと思っている。「進路」については、LHRを使い、自己分析をさせたり、個別面談の際にアドバイス等を行ったりしたが、現時点で、卒業後の進路を具体的に考えている生徒はごく一部で、多くは未定、あるいは漠然としている状況である。次年度以降、進路に対する意識をより高めるような指導を心掛けたい。</p>			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4【そう思う】 3【まあまあそう思う】 2【あまりそう思わない】 1【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
V 3学年			
1 基本的な生活習慣を定着させる			
①	規則正しい生活習慣と規範意識の確立	3.4	8
②	学校・社会・交通ルールなどを遵守することの必要性を認識させる。	3.6	2
③	給食を食べる習慣を身につける。また、給食を介してクラスメイトとの交流を図る。	3.6	2
2 基本的な学習習慣を定着させる			
①	基礎学力の向上に努めさせる。	3.6	2
②	理解できない所をそのままにせず、その都度質問するなどして理解していく努力をさせる。	3.4	8
③	日々の授業を大切に、受け身にならないよう心掛けさせる。	3.6	2
3 進路意識を向上させる			
①	アルバイト等に積極的に取り組み、進路意識や社会性を育ませる。	3.7	1
②	LHRや面談を通して、進路について考えさせる。	3.6	2
③	本人はもちろん保護者とも連携を図り、進路目標を設定していく。	3.6	2
結果に対する分析・努力目標の反省			
<p>本年度に入り、生徒数は少ないが、各人の進路意識の向上と自覚が見られた一年であった。また保護者との話し合う機会を複数回持つことができ、本校の教育目標のひとつである「勤労」の一環としてアルバイトの促進がなされた。また安定した学校生活がみられて、遅刻欠席なども僅少に留まった。次年度への目標として、進路達成のために具体的な目標の設定と計画をたてることで卒業学年への布石としたいと考える。また人間関係を円滑にするための手立て等も講じていきたいと考える。</p>			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
V 4学年			
1 基本的な生活習慣を定着させる			
①	規則正しい生活習慣と規範意識の確立	3.3	8
②	学校・社会・交通ルールなどを遵守することの必要性を認識させる。	3.6	2
③	コミュニケーション力を養い、社会性を身につける。	3.4	6
2 基本的な学習習慣を定着させる			
①	基礎学力の向上に努めさせる。	3.6	2
②	理解できない所をそのままにせず、その都度質問するなどして理解していく努力をさせる。	3.3	8
③	日々の授業を大切に、受け身にならないよう心掛けさせる。	3.4	6
3 進路意識を向上させる			
①	アルバイト等に積極的に取り組み、進路意識や社会性を育ませる。	3.7	1
②	LHRや面談を通して、より良い進路実現に取り組む。	3.6	2
③	本人はもちろん保護者とも連携を図り、進路目標を設定し、計画的に取り組んで実現させる。	3.6	2
結果に対する分析・努力目標の反省			
<p>進路対策として多くの先生方から面接指導を受けたこともあり、職員室への入退室やその姿勢、また普段の授業など機会を捉えながらはっきりと話せるようになり、大きく改善された。</p> <p>課題等の提出、自主的な家庭学習については個人により取り組み方に差があった。学習成績については個別指導を行い、得意不得意や取り組み方について確認し、改善点を考えさせることで自己理解を促した。</p> <p>生徒達はそれぞれよく考えて進路選択を行った。手続きが遅れがちになるなど、事務手続きに慣れていない部分が見られたが、反省し今後活かしてほしい。</p> <p>進路は全員決定することができた。卒業後の活躍を期待したい。</p>			

令和3年度 学校経営・運営ビジョンおよび各課・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No		そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
令和3年度 学校評価アンケート (教職員用)				
No	質 問	そう思う理由・要望・改善点など	平均	順位
1	生徒に分かりやすい授業を心がけていますか。		3.8	1
2	学習事項が定着するように、繰り返し学習や復習をするなど、ていねいな授業を行っていますか。		3.7	2
3	個別添削指導、模擬面接、小論文指導など生徒の進路達成のための支援に努めていますか。		3.4	11
4	学校行事や部活動を通して、連帯感や円滑な人間関係の育成に努めていますか。		3.7	2
5	生徒の学習上の悩みや生活上の悩みなどの相談があるとき、懇切に相談に乗ったり、アドバイスをするよう心がけていますか。		3.6	4
6	『進路講話』は、生徒の進路意識高揚の上で役にたったと思いますか。		3.6	4
7	ハローワークや関係機関などの進路情報は、生徒が自分の進路を考える上で参考になったと思いますか。		3.3	14
8	生徒に進路上の悩みや相談があるとき、懇切に相談に乗ったり、アドバイスをするよう心がけていますか。		3.6	4
9	登下校指導や給食指導は生徒の規則的な生活習慣の確立に寄与していると思いますか。		3.1	16
10	『生活体験発表会』は生徒の自己理解や自己実現に役立っていると思いますか。		3.6	4
11	『交通安全教室』、『薬物乱用防止教室』は、生徒が日常生活の安全を考える上で参考になったと思いますか。		3.6	4
12	スクールカウンセラーによる面談は、生徒の役に立っていると思いますか。		3.3	14
13	『心の健康教室』は心の健康に役立っていると思いますか。		3.6	4
14	鶴ヶ城清掃ボランティアは、地域のために役立っていると思いますか。		3.4	11
15	給食は1食324円ですが、生徒にとって満足できる内容だと思いますか。		3.4	11
16	学校は、『オーロラ(学校だより)』、『相談室だより』、『進路だより』、『給食だより』、『レーゼ・ザール』、『PTA会報』などを通して、学校の情報を十分に提供していると思いますか。		3.6	4
18	その他、学校の取組に対するご意見ご要望等があればご記入ください。			